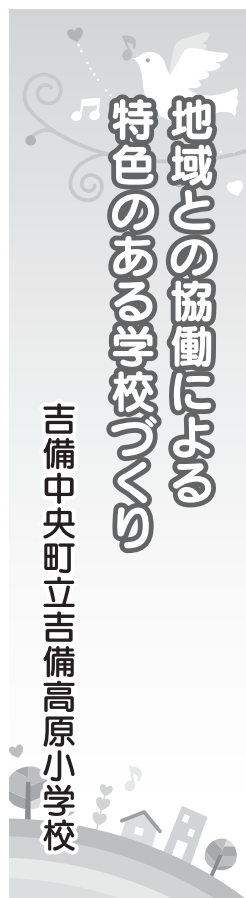


# 広げよう！優良実践の輪！

～平成29年度 優良実践校の取組～

取組 3



**1 はじめに**  
本校は、全校児童67名の小規模校です。20年前に吉備高原都市の中に建設された小学校です。本校の取組の概要を紹介します。



入院患者との交流

高原車いすふれあいロードレースには、出場者への応援の手紙を作成配布しています。さらに、毎年12月に、介護老人福祉施設と病院の年末行事に出演し歌や踊りを披露するとともにメッセージカードを送っています。

**3 学校支援ボランティアによる授業支援**

平成26年度に学校支援地域本部事業の取組を開始し、平成27年度からは校区内自治会すべての協力を得て、計画的に授業支援をいただいています。また朝の学習時の「読み聞かせ」も支援いただいています。さらに、毎年9月の土曜授業日を「地域交流活動日」とし、多くのボランティアの方々に来校いただき、工作や昔の遊びなど様々な活動を行っています。

平成28年度は延べ1990人が活動に参加くださいました。

**4 学力向上・充実の取組**

本校はここ数年、授業時間外にショートの学習時間を設定し、学力向上に向けたプリント学習等に取り組んでいます。各学年

の棚には、学習到達度確認テストをはじめ様々な補充プリントを用意し活用しています。またここ数年、時間割や年間行事予定を工夫して、学習時間を増やして学習の充実に充てています。増えた時間で、主に外部講師による特別授業や校外学習による発展応用的学習を行っています。主な特別授業は、岡山大学名誉教授の昆虫の授業、元南極越冬隊員の環境学習、自衛隊との防災学習、現役の歌手の歌唱指導、フアジャーノ岡山のサッカー教室、閑谷での論語学習、大原美術館での絵画鑑賞教室などがあります。



町内4校舎合同の南極学習

**5 読書活動**

児童図書委員会は当番活動や読書行事のほかに、昼休み等に「カルタ大会」「紙芝居」など、児童が工夫をこらした行事も実施しています。また、朝の読書の時

間に6年生や教員も読み聞かせを実施しています。  
《保護者等との連携》  
PTAの組織に読書推進委員会を設置し、児童の読書活動を支援しています。読書月間や読書週間の設定。本の紹介や頑張りカードの配付など、読書者への記念品の配付など、家庭と一緒に読書活動を推進しています。

また、年に数回、町立図書館の図書を学校に出前してもらい、町立図書館の本を貸し出しています。町立図書館貸出カード体験の機会ともなっています。

児童の読書活動が盛んになってきており、学校図書館の貸し出し冊数は、ここ数年四千冊を超えており、児童一人あたりの貸し出し冊数も、一人百冊を超えています。

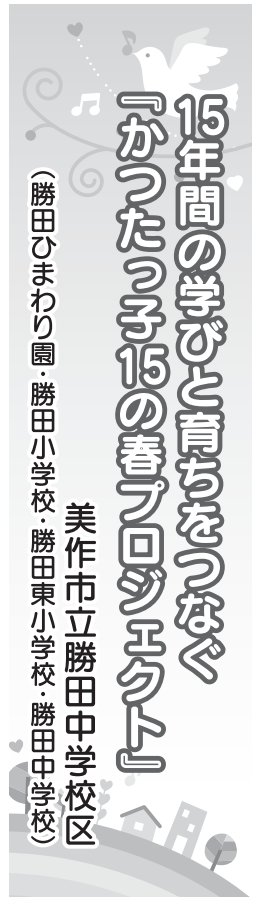
**6 おわりに**

こうした取組により、全国学力・学習状況調査では、全国平均を毎年コンスタントに超え安定した結果を出しています。

職員が一丸となって、地域社会と連携すれば、大きな成果が得られることを実感しました。

今後、本校の教育プランを精進し、より家庭や地域社会の理解の輪を広げ、さらに特色ある学校教育を推進したいと思っております。

(前年度校長 森寺 勝之)



1 はじめに

勝田中学校区では、平成27年度に勝田ひまわり園から梶並・勝田・勝田東の3小学校、勝田中学校へと子どもたちの15年間の学びと育ちをつなぐプロジェクトがスタート。翌年、梶並・勝田小学校が統合して『かつたつ子15の春プロジェクト』新体制が確立。平成29年度からは、このプロジェクトを基盤にさらなる一步を踏み出し、小中一貫教育の研究に着手しています。

2 取組の概要

① 組織づくり

15の春プロジェクト会議を中心に、「こころ部」「そだち部」「まなび・ゆめ部」「つなぐ推進」の4部会による取組をスタート。経営部会（校長）と運営部会（教頭）が4部会を統括し



第1回合同研修会

て、連携を推進しています。

② 合同研修会の開催（年3回）

園・小・中の教職員が一堂に会し、校区の子どもたちの学びと育ちの課題と対策を協議、共に課題解決に取り組む起点になっています。

③ 授業改善と相互研修

小中共有の授業モデル『かつたつ子授業のスタンダード』を原型に、主体的・対話的で深い学びを生む授業改善と研修に取り組んでいます。

④ 学びと育ちの連携表

学校・園と家庭で取り組む学びと育ちの指針を作成。家庭と連携してかつたつ子の社会を生き抜く力を育むことを目指しています。

⑤ 部会の活動

年度末には4部会のまとめと連携予定表を作成、第3回合同研修会で共有して、次年度の活動に生かします。連携をつなぎ、深めるための振り返りです。

⑥ 中学校「学びの時間」

火曜日の午後には小学校5、6年が中学校で小学校英語と算数の教科担任の授業を受けています。活力のある小学生とよきモデルの中学生をつなぐ実りの時間です。

⑦ カリキュラムをつなぐ

平成29年度に小中の学校教育目標を統一、英語を出発点に教科のカリキュラム接続を研究し

ています。

3 「15の春」がもたらすもの

ひまわり園での「育ち」を基盤として、小学校と中学校の「学びの心」と「学びの力」をつなぐ15の春。お互いのリスペクトが深いつながりを生み、かつたつ子の変容が地域に広がっています。このプロジェクトが子どもたちの確かな学力と自己有用感を育み、自立を促す。そのことが教育への信頼を培っていくと信じて、これからもかつたつ子の夢実現に向けて前進します。

（前年度勝田中学校長

西村 睦美）



中学校「学びの時間」（英語）